

作成日 2013年 8月 5日

改訂日 2015年 5月 12日

## 安全データシート

### 1. 製品及び会社情報

製品名 : PAG油01、1、2、3、4 蛍光剤  
製品コード : Y69590□

会社名 : アサダ株式会社  
住所 : 愛知県名古屋市中区上飯田西町3-60  
担当部門 : 営業本部  
電話番号 : 052-911-7165  
緊急連絡電話番号 : 052-911-7165  
FAX番号 : 052-914-2062  
メールアドレス : sales@asada.co.jp  
推奨用途及び使用上の制限 : 冷凍・空調機器からの冷媒漏れ検知液

### 2. 危険有害性の要約

GHS分類 ※分類対象外、分類できないは省略

#### 重要危険有害性及び影響

引火性液体 : 該当 (第四類第三石油類)  
自然発火性液体 : 区分外  
急性毒性 (経口) : 区分外  
急性毒性 (経皮) : 区分外  
急性毒性 (吸入: ミスト) : 区分4  
皮膚腐食性・刺激性 : 区分3  
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 : 区分2B  
皮膚感作性 : 区分外  
生殖細胞変異原性 : 区分2  
発がん性 : 区分外  
特定標的臓器・全身毒性 : 区分1 (肺・皮膚)  
呼吸性呼吸器有害性 : 区分1

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険  
危険有害性情報 : 吸入すると有害 (ミスト)  
軽度の皮膚刺激  
眼刺激  
遺伝性疾患のおそれの疑い

発がんのおそれ  
 肺の障害のおそれ  
 長期又は反復ばく露による肺、皮膚の障害  
 飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き : ●目に入ると炎症を起こすことがあります。□  
 取り扱う際は保護眼鏡を使用する等目に入らないようにしてください  
 ●皮膚に触れると炎症を起こすことがありますので、  
 取り扱う際は保護手袋を使用する等皮膚に触れないようにしてください  
 ●飲まないでください。（飲み込むと下痢・嘔吐します）  
 ●ミストを吸入すると気分が悪くなることがあります。  
 取り扱う際は呼吸器具を使用する等ミストを吸入しないでください。  
 ●子供の手の届かないところに保管してください。

重要な徴候 : 麻酔作用

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合

品名	化学名/成分	成分及び含有量%	CAS番号/官報公示整理番号	化学物質管理促進法
PAG油01	潤滑油	60-80	非公開	非該当
	蛍光剤	20-40	非公開	非該当

### 4. 応急措置

取るべき応急処置

吸入した場合 : 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合 : 直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぎ取り去ること。  
 付着部を大量の水（温水）で洗浄すること。  
 皮膚刺激、症状がある場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : すぐに医師を呼ぶこと。  
 無理に吐かせずに医師の指示に従い嘔吐・吐出させる事。

応急措置をする者の保護 : 救助者は、状況に応じて適切な保護具を着用する。

### 5. 火災時の措置

適切な消化剤 : 小火災には乾燥化学品、二酸化炭素、アルコール泡を使用のこと。  
 大火災には水のスプレー、霧を使用のこと。

使ってはならない消化剤 : 特に無し

特有の危険有害性 : 燃焼や分解の時、刺激性/毒性の蒸気を発生する可能性有り

消火を行う者の保護 : 消火作業の際には防護・防火服、空気呼吸器、  
 循環式酸素呼吸器などを着用のこと

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 目や肌に触れる事で、炎症を引き起こす可能性あり。  
吸入により目、鼻、喉に炎症を起こす場合あり。  
作業の際には必ず防護服を使用の事。
- 回収、中和方法 : 少量の場合、粘土・土または一般的に利用可能な吸収剤などに含ませる  
シャベルで当該染料を吸収材と共にすくい、処分のためにドラムへ回収する。  
大量の場合、盛り土で囲い流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- ・使用上の注意を守ること。
- 取扱者のばく露防止 :  
技術的対策 :  
急所排気・全体換気 :  
注意事項 :
- ・保護具を着用する。
  - ・局所排気、全体換気を行う。
  - ・常温、換気の良い場所で取り扱う。
  - ・目に入ると軽度の炎症を引き起こす可能性があります。  
保護メガネを使用するなどして目に入らないようにする。
  - ・皮膚に長時間触れると炎症を引き起こす可能性があります。  
保護手袋等を使用するなど皮膚に触れないようにする。
  - ・炎、火災または高温体との接近を避けるとともにみだりに蒸気を発生させないようにする。
  - ・取扱いの後十分に洗浄すること。

### 保管

- 技術的対策 : 専用の容器に保管する。
- 保管条件 :
- ・涼しく、乾燥した換気の十分できる場所に保管し、  
熱・点火源及び直射日光を避けること。
  - ・類の異なる危険物は同一の貯蔵所において貯蔵しない事。
  - ・常に容器のフタをきつく閉めること。
  - ・高温多湿の場所に保管することは避ける。
  - ・容器を再利用しないこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 許容濃度

- A G C I H : ACGIH TLV: 5 mg/m<sup>3</sup> , 8 hr ACGIH STEL: 10 mg/m<sup>3</sup> OSHA PEL: 5 mg/m<sup>3</sup>, 8 hr

### 設備対策

- : 必要に応じて通常排気装置を設ける。

### 保護具

- 呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用すること。

- 手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。

- 目の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。

- 皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

- 適切な衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 外観

物理的状態	: 液体
色	: 琥珀色
臭い	: 軽い石油臭
臭いのしきい（閾）値	: データ無し
pH	: データ無し
沸点、初留点及び沸騰範囲	: 200℃
引火点	: 152℃以上

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	: 通常の取扱い条件(常温・常圧)の下で安定
危険有害反応可能性	: 自然発火性、水との反応性なし
避けるべき条件	: 酸化剤と還元剤との接触を避ける
混触危険物質	: データ無し
危険有事な分解生成物	: 燃焼することで一酸化炭素や二酸化炭素を生成する可能性有り

## 11. 有害性情報

急性毒性	: データ無し
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	: データ無し
眼に対する重篤な損傷性又は	: 軽い炎症を引き起こす可能性有り
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 目や鼻及び連続した吸入により呼吸器官に炎症を引き起こす場合がある 長時間、又は連続した接触により炎症を引き起こす可能性有り
生殖細胞変異原性	: データ無し
発がん性	: データ無し
生殖毒性	: データ無し
特定標的臓器毒性、単回暴露	: データ無し
特定標的臓器毒性、反復暴露	: データ無し
吸引性呼吸器有害性	: 口、喉、及び胃の炎症の可能性有り

## 12. 環境影響情報

生態毒性	: データ無し
残留性・分解性	: データ無し
生態蓄積性	: データ無し
土壌中の移動性	: データ無し
オゾン層への有害性	: データ無し
他の有害影響	: データ無し

## 13. 廃棄上の注意

### 廃棄方法

残余廃棄物	: 各自治体の指示に従い破棄してください。
汚染容器及び包装	: 各自治体の指示に従い破棄してください。
廃棄規制	: 廃棄物処理法等に従って廃棄すること。 消防法第四類第三石油類非水溶性として取り扱うこと。

#### 1.4. 輸送上の注意

##### 国際規制

- 海上 : IMOの規制に従う。
- 航空 : ICAO/IATAの規制に従う。

##### 国内規制

- 陸上 : 消防法等の、輸送について定めるところに従う。
- 海上 : 船舶安全法の規定に従う。
- 航空 : 航空法の規制に従う。
- 特別の安全対策 : 移動、転倒、衝撃、摩擦などを生じないように固定する。  
運搬時には容器を40℃以下に保ち、特に夏場はシートをかけ温度上昇の防止に努める。  
火気、熱気、直射日光に触れさせない。  
鋼材部分と直接接触しないようにする。  
重量物を上積みしない。  
容器を落下させたり、衝撃を加える等乱暴な取り扱いをしないこと。

#### 1.5. 適用法令

##### 化学物質などに特に適応される法規制

- 消防法 : 第四類第三石油類
- 水質汚濁防止法 : 油分排出規制(5 mg/L 許容濃度)

#### 1.6. その他の情報

##### 参考文献

- 1) 安全衛生情報センター

記載内容は、現時点で入手した情報に基づいて作成していますが、記載データや評価に関してはいかなる保証をなすものではありません。

注意事項は、通常の実施を前提としたもので、特別な取扱いをする場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、取扱い願います。